**財務諸表に対する注記**

１　重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物　　　　　　・・・・・・・・・・ 定額法

器具備品　　　・・・・・・・・・・ 定率法

② 無形固定資産　　・・・・・・・・・・ 定額法

（2）引当金の計上基準

　① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員に対する退職給付に備えるため、職員退職金支給規程に基づく期末要支給額を計上している。

　　③　特定費用準備資金

　　　　50周年記念事業に要する費用を特定費用準備資金として計上している。

　（3） 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2　特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | （単位：円） |
| 科目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
| 退職給付引当預金 | 522,500 | 0 | 71,250 | 451,250 |
| 会館建替積立預金 | 12,600,000 | 0 | 0 | 12,600,000 |
| 生涯教育金 | 2,000,000 | 0 | 0 | 2,000,000 |
| 50周年記念事業積立預金 | 500,000 | 0 | 500,000 | 0 |
| 合　計 | 15,622,500 | 0 | 571,250 | 15,051,250 |

3　特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | （単位：円） |
| 科目 | 当期末残高 | （うち指定正味財産からの充当額） | （うち一般正味財産からの充当額） | （うち負債に  対応する額） |
| 退職給付引当預金 | 451,250 | 0 | 0 | 451,250 |
| 会館建替積立預金 | 12,600,000 | 0 | 12,600,000 | 0 |
| 生涯教育金 | 2,000,000 | 0 | 2,000,000 | 0 |
| 合　計 | 15,051,250 | 0 | 14,600,000 | 451,250 |

4　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | （単位：円） |
| 科目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
| 建物 | 13,237,770 | 10,301,620 | 2,936,150 |
| 器具備品 | 1,442,655 | 1,391,720 | 50,935 |
| 合　計 | 14,680,425 | 11,693,340 | 2,987,085 |